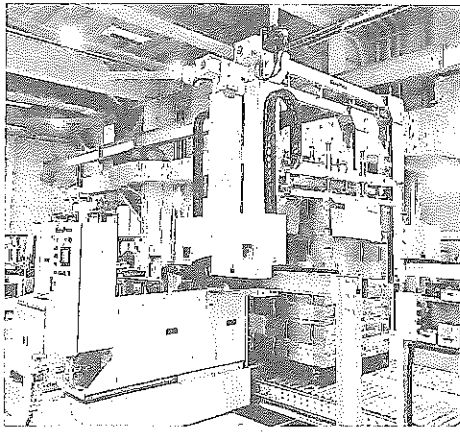


ストラパック

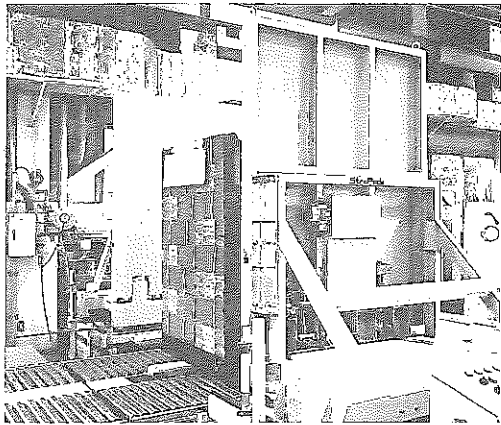
パレット梱包機で効率化

現場に合わせラインアップ

ストラパック(営業企画室)は、横浜市神奈川区、045・475・7211は、段ボール製造工場のラインでパレットに積載した段ボールシートをバンド掛ける、パレット梱包機「SWY-500AO」の提案を進めている。パレタイズされた段ボールシートの側面を平滑にする4面規整装置など、納入現場の必要に合わせたラインアップも用意し、作業効率化や省人化に貢献する。従来の梱包機ではアー



「SWY-500AO」はアーチを上下して内寸を合わせる



荷姿を整える「四面規整装置」

チが固定の為積載高さの低いパレット等を梱包する場合、バンドがアーチから梱包物に巻き付くまでに長い距離を引き戻していた。このため引き戻したときにパレットの振れや痕、癖が残る、荷姿の不良やバンド

装填時のトラブル原因になりやすかった。同機では今まで固定していたアーチ部を上下させることで、この問題を解消。アーチ上辺が下がり、荷物をプレスすると同時に高さを検知し荷物に最適な梱包を実現する。また、アーチ下部が昇降するので、パレットの桁の中を通す「中通し」、パレットの底面からバンド掛けする「外掛け」を状況に応じて選択できる。

ターnteepulを使用し、併桁状の4本掛けに梱包することも可能だ。一方に2本掛けを行ったのちに、タ

ーンてepulに送り90度方向転換。再び梱包機に戻し2本掛けを行うことで併桁状に梱包がするというもの。なお、同社は「SWY-500AO」をベースに、従来機に比べて大幅に高能力・省スペースを実現した新モデルを開発した。(詳細は後日掲載)